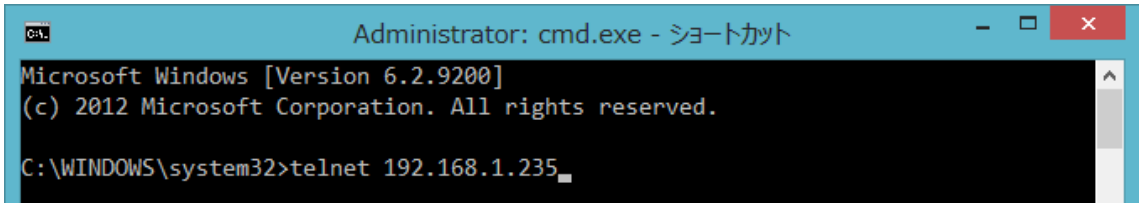
ファームウェアの更新手順

※　事前準備

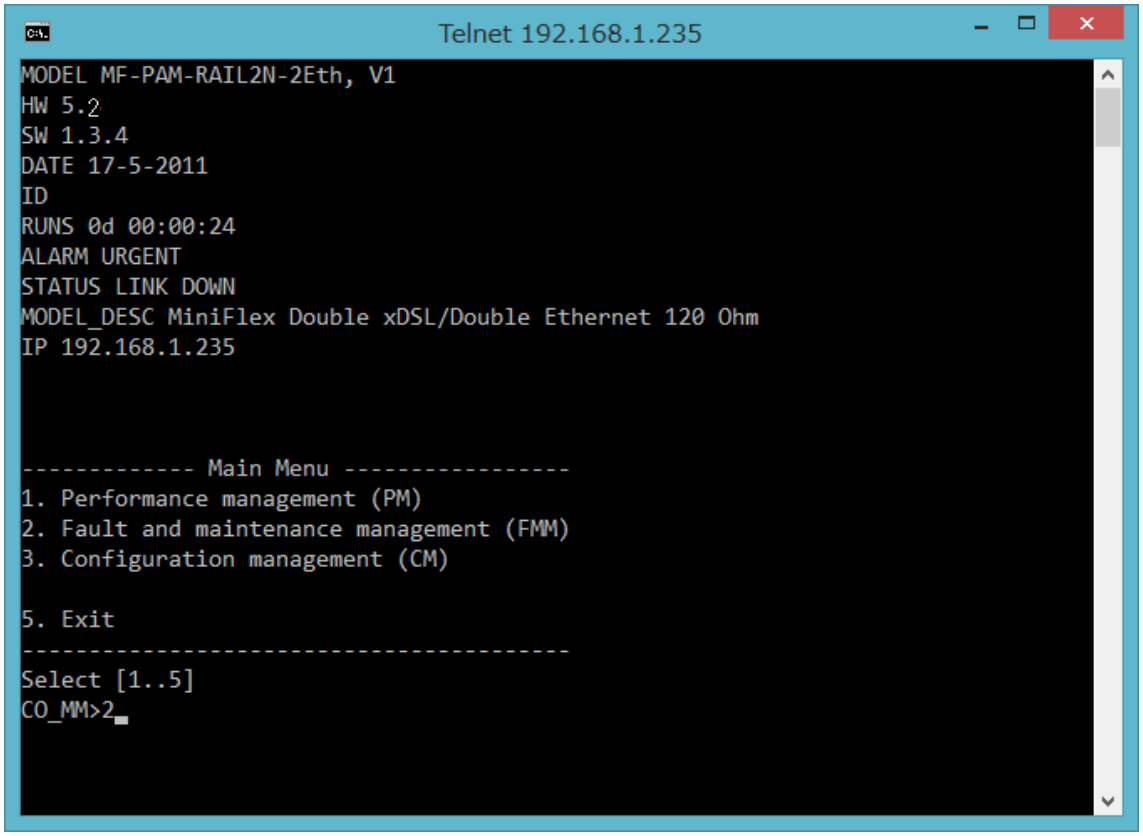
・PC と MiniFlex を LAN ケーブルで接続する。

・TFTP サーバを立ち上げ、TFTP サーバにて指定したフォルダにファームウェアファイルを置く。

1)　MiniFlex に Telnet でログインします。

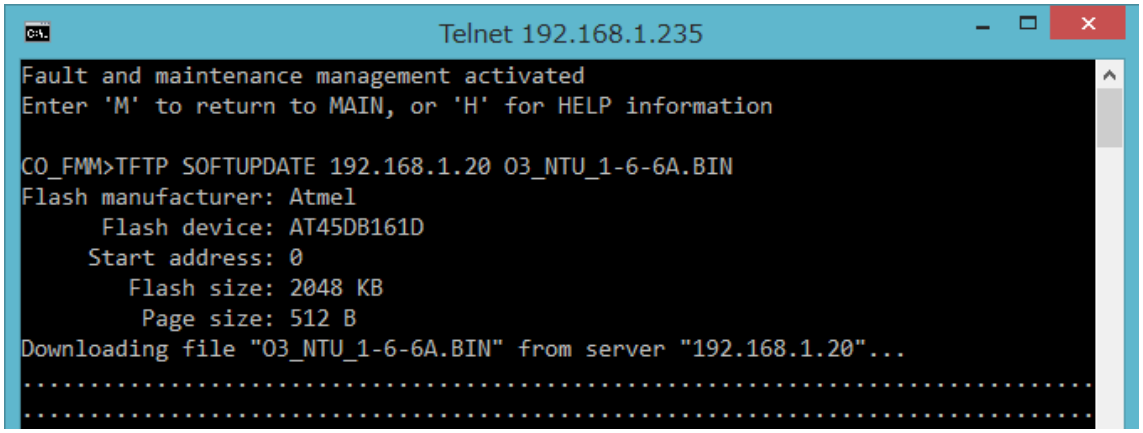


2)　“2”を入力して、Fault and maintenance management(FMM)モードに入ります。

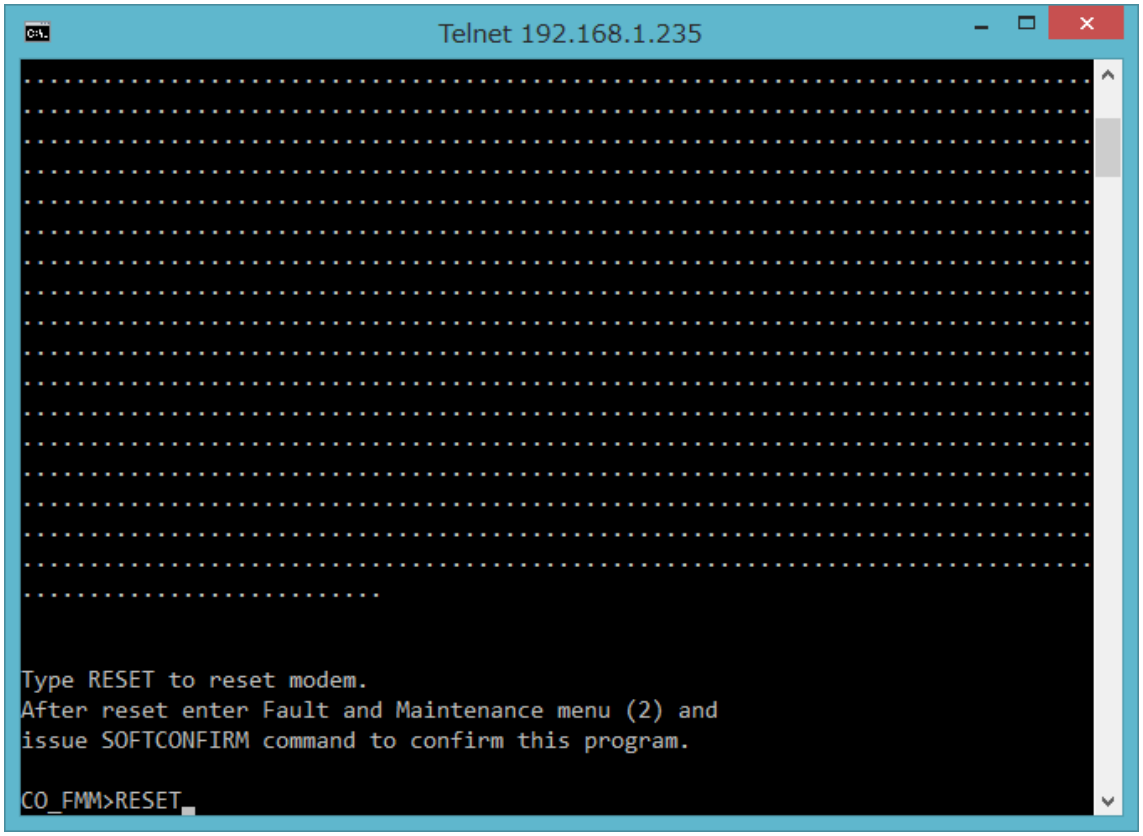


3） “TFTP SOFTUPDATE xxx.xxx.xxx.xxxO3_NTU_1-6-6A.BIN”と入力し、TFTP サーバからファームウェアファイルをダウンロードし、適用します。

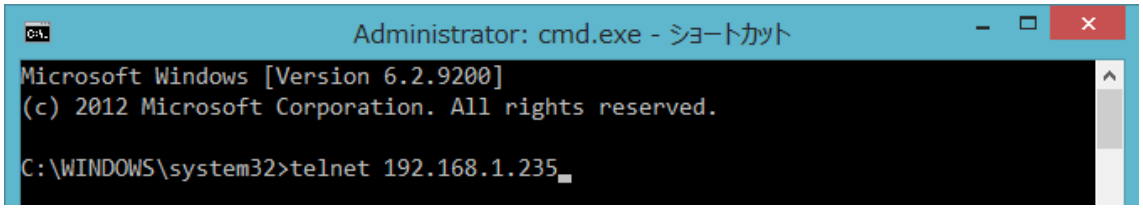
xxx.xxx.xxx.xxx には TFTP サーバの IP アドレスが入ります。



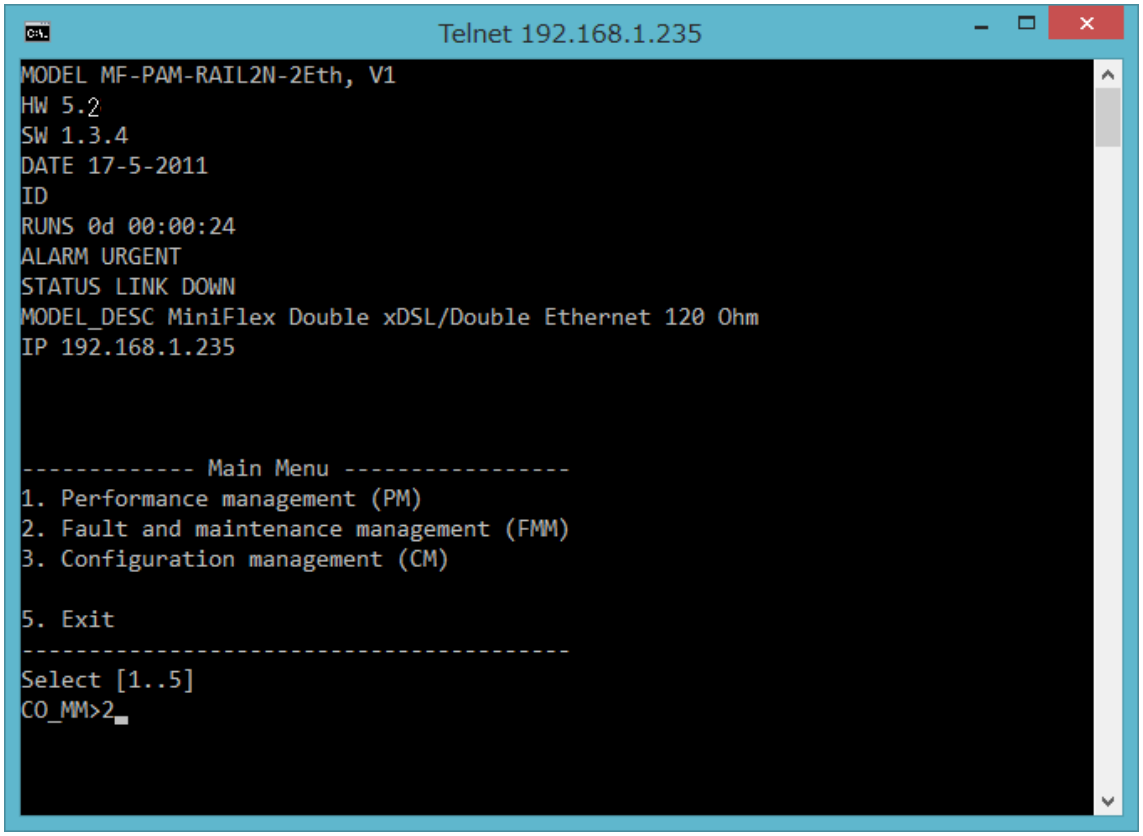
4） 下図のように、表示されたら”RESET”と入力し、MiniFlex を再起動します。



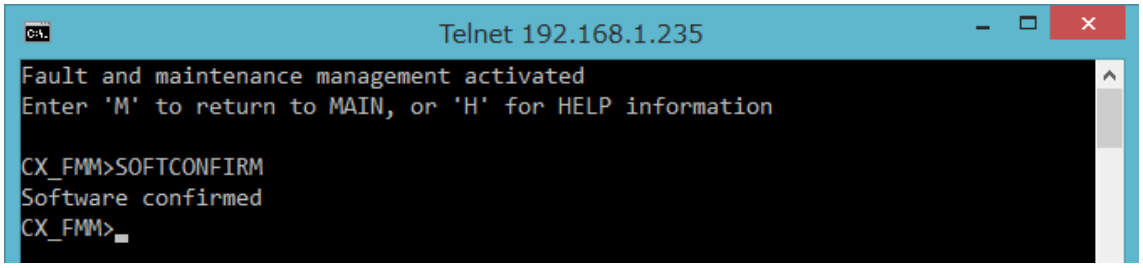
5） MiniFlex の再起動が完了したら、再度ログインします。



6） “2”を入力して、Fault and maintenance management(FMM)モードに入ります。



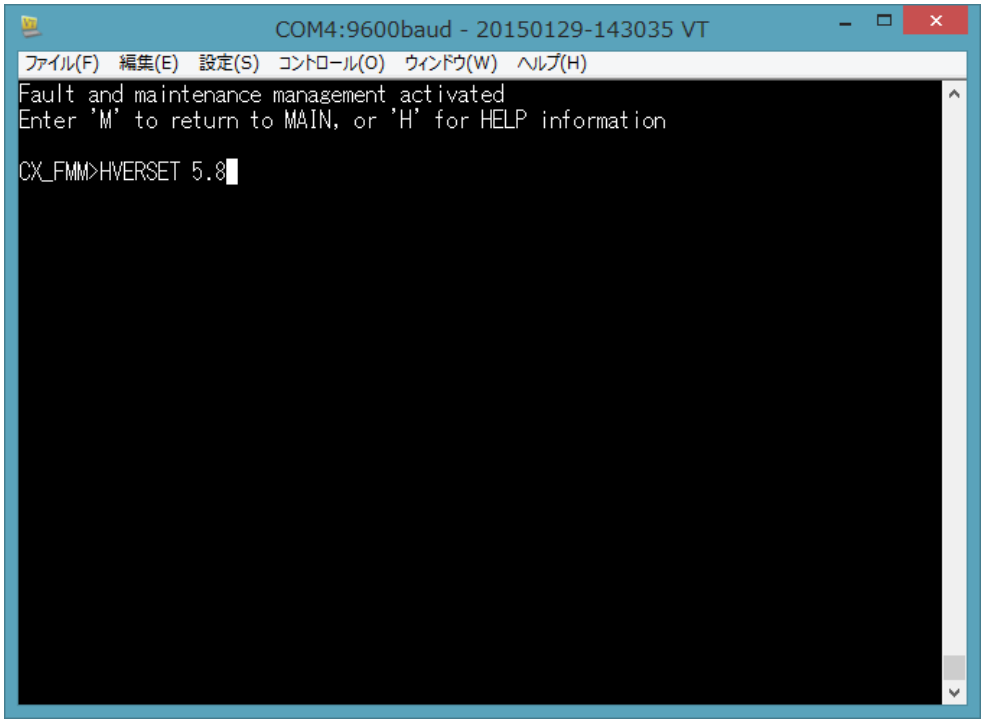
7） “SOFTCONFIRM”と入力すると、ファームウェアの更新は完了します。



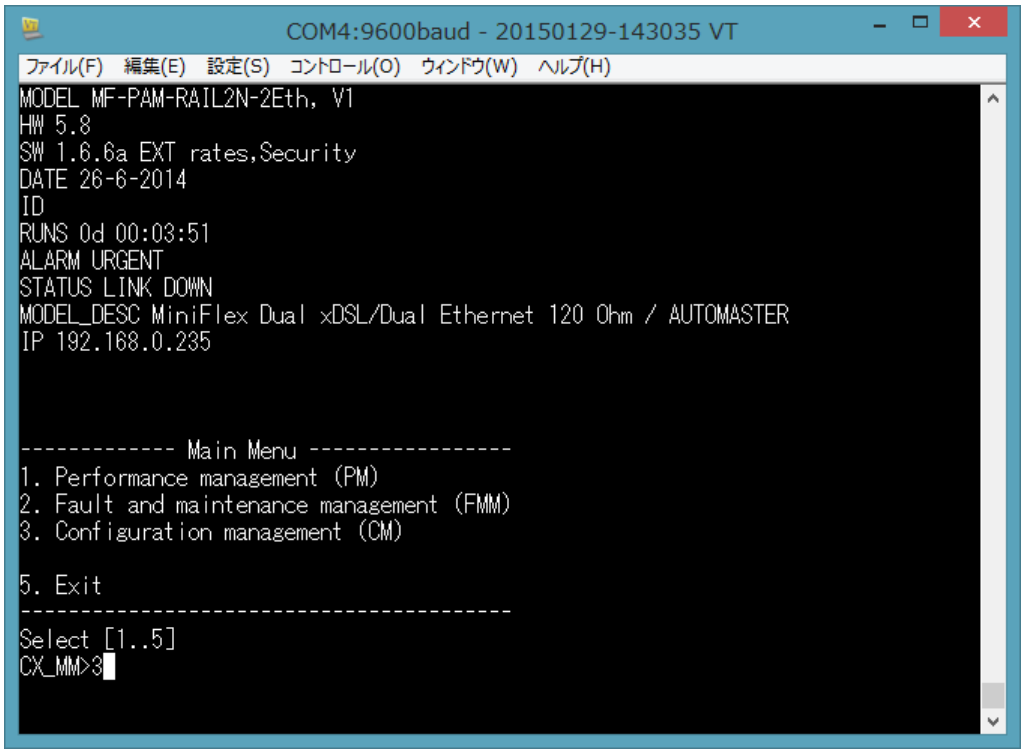
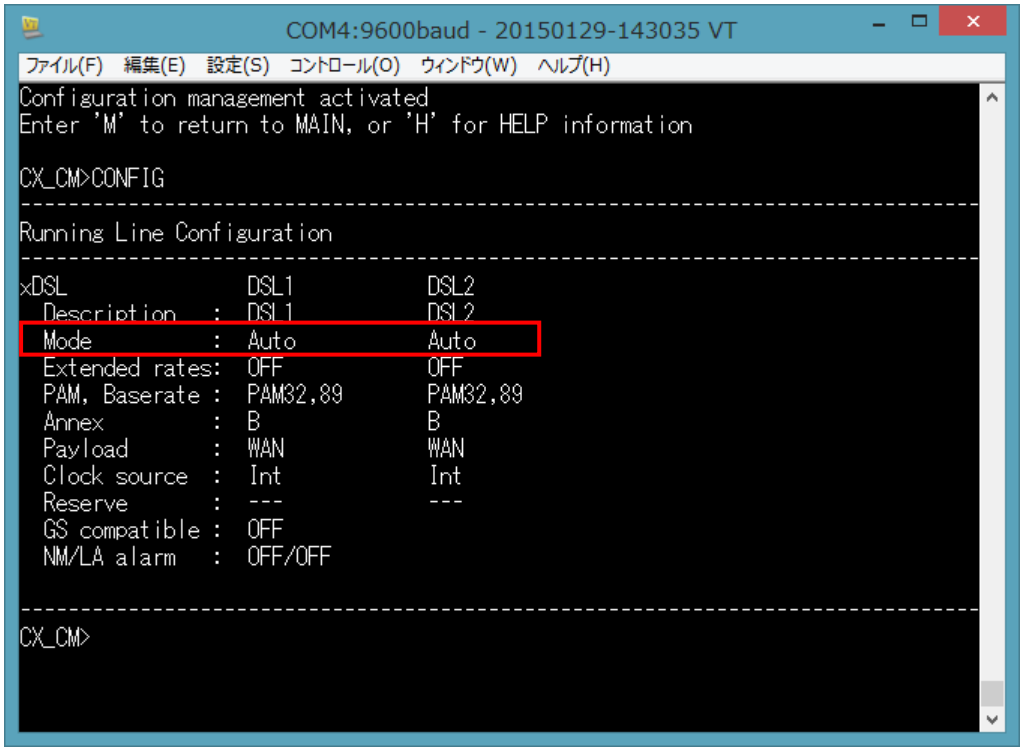
続いて、親機子機自動モードを有効にします。

8） “HVERSET 5.8”と入力すると、機器が自動で再起動されます。

※ このコマンドを入力すると、機器の設定が”DEFAULT EVERYTHING”コマンドを実行した時と同じ状態になりますので、先に設定のバックアップを行う事を推奨致します。



9)　再度機器にログインし、”3” と入力して、Configuration management(CM)モードに入ります。



10) “CONFIG”と入力し、Mode が”Auto”になっていれば設定は完了です。